

令和 7 年度活動方針

【活動方針】

トランプ米大統領が米国内の製造業の復活と貿易赤字の是正を目指して導入した新たな関税政策が世界に大きな波紋を広げ、グローバル経済への深刻な影響が懸念されています。貿易コスト増、インフレ加速、成長鈍化、貿易戦争のリスクは避けられず、特に輸出依存国は大きな試練に直面します。

日本への影響は、財務省の 2024 統計によると、日本の輸出額のうち米国向けは、輸出全体の 19.9% を占め、米国向けの輸出のうち 3 分の 1 を自動車関連が占めています。また、米国の政策の不透明感が強まり設備投資の足かせになります。輸出関連産業の利益悪化が個人消費へ悪影響を及ぼすことが懸念されます。

国は対策本部の設置、輸出産業に向けた資金繰り支援などを実施することを決めています。サプライチェーンの変化は、地方にも大きな影響をもたらす、人口減少や高齢化からくる経済縮小、若い人材の県外流出が課題となっている地域経済にさらなる課題を突き付けています。

一方、2025 年は大阪・関西万博が開催され、日本を訪れる外国人の増加が見込まれています。

鳥取県は、米国の関税や物価高から県内の経済振興、雇用を確保するための支援策を行うことを表明しています。また、観光産業振興のため大阪・関西万博を訪れた外国人を鳥取県内に誘客するための取り組みを行っています。

こうした中、鳥取県経済同友会は、問題解決のため他の経済団体との交流をはじめ、地域内産学官の連携を深め地域の諸課題の解決および地域の活性化に取り組んでいきます。さらに、東部・中部・西部の各地区経済同友会の連携を密にしていくとともに、例会、委員会活動を積極的に開催し、以下の活動を進め地域社会への貢献、地域に根ざした経済団体として活動します。

【具体的な取り組み事項】

1. 高速交通基盤の整備促進と要望活動の強化
 - ・ 山陰自動車道（北条道路）の早期完成への運動
 - ・ 地域高規格道路（山陰近畿自動車道、北条湯原道路）の早期整備促進
 - ・ 鳥取砂丘コナン空港、米子鬼太郎空港、境港等交通インフラの総合的整備への運動
 - ・ 山陰地区における高速鉄道（新幹線を含む）の整備への運動
 - ・ 中国横断自動車道（米子道）米子～境港間の整備促進
2. 大阪・関西万博を契機としたインバウンドの県内誘客促進
3. 「鳥取県令和新时代創生戦略」（地方創生）の推進
4. 広域観光振興
5. SDGs を活かした地域創生への取り組み

6. 第1次産業との相互連携による魅力発進と幅広い施策の展開
7. 岡山、島根経済同友会との合同懇談会開催
8. 経済同友会（全国・西日本・関西）の主催する各種会議、懇談会への積極的参加
9. 時宜に適った積極的な政策提言活動の展開
10. 行政機関・友好経済団体との連携と交流活動の推進
11. 組織運営（財政基盤の再構築）と情報活動の充実強化
12. 自立した財政基盤の強化活動（新入会員増強運動の展開）
13. その他目的達成に必要な事業の実施

『地区別の主な事業』

＜東部地区＞

鳥取県経済同友会東部地区では、8つの委員会と2つの特別委員会の活動を中心に例会や勉強会の実施、他の経済団体との交流をはじめ、地域の諸課題の解決及び地域活性化に向けて、行政機関への協力や提言等に取り組んでいきます。

さらに、地域社会への貢献、地域に根差した経済団体として活動します。

- ・月例会、8委員会とデジタル化特別委員会及びSDGs・脱炭素社会推進特別委員会による積極的な活動と政策提言
- ・行政機関、友好経済団体等との連携と広域交流活動の推進
- ・「地方創生」（首都圏一極集中の弊害、移住定住、人口減対策・学生の県内就職及び雇用促進等）に係るさまざまな視点からの課題研究と提言
- ・大阪・関西万博開催を契機に、インバウンドを含めた域内観光客の増加に向けた各種施策の検討と提言
- ・高速交通基盤の整備促進と観光振興について
- ・県内におけるデジタル化推進のための課題研究と提言
- ・東部圏域と岡山・但馬圏域の連携による地域振興並びに岡山経済同友会津山部会、神戸経済同友会但馬部会との交流による課題研究
- ・教育現場の現状認識と課題研究、観光施設の現状認識と課題研究と提言
- ・現地探索による地元地域の魅力再発見及びその活用策の提言
- ・地域経済を担う次世代の経営者育成
- ・DX・IoTなどの活用を通し、新たな働き方改革の推進を提言
- ・組織運営（財政基盤の強化）会員増強拡充運動と情報活動の充実強化
- ・リモート会議の開催や情報手段としてのHPの充実など、デジタル化の積極的な推進

【委員会活動】

令和7年度の活動方針に基づき、委員会活動は、各分野の課題について活発な委員会運営を進める。

総務委員会、教育文化委員会、地域学委員会、広域観光委員会、地域経済活性化委員会、岡山・但馬交流委員会、移住・定住委員会、未来の人材育成委員会、デジタル化特別委員会、SDGs・脱炭素社会推進特別委員会

＜中部地区＞

鳥取県経済同友会中部地区は、「中部はひとつ」のスローガンのもと、地域経済の持続的な発展を目指します。人口減少や企業の後継者不足といった課題に対応するため、DXを活用し、地域企業の生産性向上や事業承継の支援を進めます。

また、本年3月に開館した鳥取県立美術館を活かし、観光・文化と地域産業の連携を強化し、交流人口の拡大を図ります。さらに、多様な働き方の推進や人材育成を通じて、持続可能な地域社会の実現を目指します。

経済の安定化に向けて、国内外の動向を注視しつつ、産官学連携を強化し、新たな成長の機会を創出することで、活力ある中部地域の発展に貢献していきます。

【重点事業】

- ・ 中部圏域の振興に向けた活動
- ・ 鳥取県立美術館の利活用による地域活性化推進
- ・ 脱炭素社会へ向けた取組みを含むSDGsの具体的な展開
- ・ デジタル化の推進
- ・ 会員の増強
- ・ 会議、研修会、講演会の開催
- ・ 各種情報収集及び調査研究
- ・ 県同友会をはじめ各種機関・団体との連携・協調
- ・ 会員相互の親睦・交流

【委員会活動】

デジタル化推進委員会

＜西部地区＞

米国の政権移行後、世界はトランプ大統領の言動に翻弄されている。大きな政策決定が短期間での修正を繰り返す先の見通せない状況に、国も企業も方針を決めかね、特に投資には慎重にならざるを得ない。歴史の転換点であることは疑いようもなく、山陰という地方社会への影響も出てくるだろう。私たちは、そのような大きな流れを可能な限り感じ取りつつ、これまで積み上げてきた活動・提言をさらに前に進めていきたい。この地域の経済活動を活発化できるよう、会員の力を組織の力として事業に取り組んでいく。

【重点事業】

- ・ 鳥取県西部総合事務所との連携による地域活性化策の検討
- ・ 国際関係を地域経済に活かす方策の研究
- ・ 教育機関と連携した人材育成、交流活動の実施
- ・ 地域の観光戦略についての研究
- ・ 大山・宍道湖・中海圏域の連携強化と発展のための活動
- ・ 若者にとって魅力ある地域づくりの研究
- ・ 境港のポテンシャルを探り活性化に活かすための研究

- ・経済人の資質向上のための活動
- ・鳥取大学医学部との連携による地域活性化の検討
- ・近隣経済同友会との懇談会の実施

【委員会活動】

総務委員会、鳥取県成長戦略検討委員会、国際経済委員会、教育関係委員会、観光活性化委員会、鳥取島根合同委員会、楽しい地域（くに）づくり特別委員会、境港活性化特別委員会、経営ゼミナール特別委員会、鳥取大学医学部連携特別委員会

1 4. 各種の合同懇談会、ブロック大会等への積極参加

- ◇ 第37回全国経済同友会セミナー（広島市）
令和7年4月17日（木）～18日（金）
＊大会総合テーマ
50年後も輝き続ける「まち」であるために
～平和の地から未来を見据えて～
- ◇ 日本海沿岸地域経済同友会サミット（札幌市）
令和7年7月9日（水）
- ◇ 第11回西日本経済同友会代表者会議（京都市）
令和7年7月17日（木）
- ◇ 第122回西日本経済同友会会員合同懇談会（松江市）
令和7年10月24日（金）～25日（土）
- ◇ 全国経済同友会代表幹事円卓会議（松山市）
令和7年11月10日（月）
- ◇ 第32回岡山・鳥取県経済同友会合同懇談会（岡山県内）
（令和7年12月3日（水）担当：岡山）
- ◇ 第52回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会（島根県内）
（開催時期未定）
- ◇ その他当会の所属する各種団体会議の参加、出席